

## 国際シンポジウム

# 世界のHPVワクチン被害は今

2018年3月24日(土)13:30～17:30 (13:00 開場)

東京大学 武田先端知ビル5F武田ホール 同時通訳付・事前申込不要・資料代500円

HPVワクチン(「子宮頸がんワクチン」)によって深刻な被害が発生し、社会問題化しているのは日本だけではありません。本シンポジウムでは、集団訴訟が提起されているコロンビアを始め、スペイン、イギリス、アイルランドの被害者団体からゲストを迎え、被害実態、医学界や規制当局の対応、被害者の活動などを紹介し、議論します。



### 第1部 各国からの報告

HPVワクチンの基本的問題点と日本の現状 水口真寿美

薬害オンブズパーソン会議事務局長、HPVワクチン薬害訴訟全国弁護団代表

コロンビアからの報告 Monica Leon Del Rio

"Rebuilding Hope Association HPV Vaccine Victims"代表、集団訴訟代理人弁護士

スペインからの報告 Alicia Capilla

"Association of Affected People due to the HPV vaccines in Spain" (AAVP) 代表

イギリスからの報告 Mandeep Badial

"UK Association of HPV Vaccine Injured Daughter" (AHVID) 科学部門担当

アイルランドからの報告 Anna Cannon

"Reactions and Effects of Gardasil Resulting in Extreme Trauma" (REGRET) 広報担当

(※海外からの報告者は、いずれの方も被害者の母です)



### 第2部 パネルディスカッション

パネリスト 第1部報告者ほか

コーディネーター 隈本邦彦ほか(薬害オンブズパーソン会議メンバー)

主催・問合せ先 薬害オンブズパーソン会議

電話:03-3350-0607 <http://www.yakugai.gr.jp/>



東京大学 武田先端知ビルアクセス

東京メトロ南北線「東大前」出口1より10分・千代田線「根津駅」出口1より5分ほか